

※事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（ポナ 2024年1月実施）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広い指導訓練室の他に、ソファを置いてゆっくりと過ごせる部屋もあり、カームダウンできる場所もある
	2	職員の配置数は適切であるか	○			制度に則り、適切な人員を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内への入口3か所のうち、1か所はスロープにしている トイレには多目的シートを設置している
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月事業所会議で振り返り、職員間で共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年実施し、業務改善につなげている。年度末には事業所通信で保護者へフィードバックしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		隔月に1回外部作業療法士のスーパービジョンにより、事業内容や個別事例について助言を受けており支援の参考としている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月1回の法人職員研修、事業所内研修、事例検討を行い、隔月1回法人リーダー研修、新任研修を行っている
適切な 支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別の支援計画を作成しているか	○			子どもの状況の把握に努め、保護者と連携して丁寧にアセスメントを行い、職員間で話し合いながら、年2回個別の支援計画を見直し、作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準化されたアセスメントツールではなく、本人、家族の思いに寄り添った支援をするために、個別の支援計画やサポートカードを充実させ活用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動ごとに職員が分担して原案を作り、職員間で話し合いながら計画実施しているが、さらに内容の充実を図りたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月ごとの活動計画を立てるとともに、実施後の振り返りをもとに子どものニーズに沿った活動となるよう工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			祝日や長期休暇は、日頃時間の関係で難しい活動（公共施設の利用等）も個に応じた目標を設定して計画実施している

の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動計画を作成しているか	○		子どもの状況に応じて、個別や少人数での活動、全体での活動を取り入れて計画作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		外出や行事については事前に実施要項で確認・打合せをしており、日常の活動については支援開始前に活動担当者と責任者が打ち合わせをし、職員間で共有している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援について記録して活動担当者と責任者を中心に職員間で振り返りを行い、ミーリング等も利用しながら職員間で情報共有を図っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回利用者の様子や支援について記録し、所内会議等で振り返り検討して改善を図っている
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス個別の支援計画の見直しをしているか	○		年に2回（9月・3月）振り返りとモニタリングを行い、個別の支援計画の見直しをしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		様々な体験ができるよう、自立支援や作業、制作、余暇等の活動プログラムを企画して支援している
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必ず責任者、管理者が参加している
	21	学校との情報共有、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時や電話、メールなどで情報共有や連絡調整などを行っている。相談事業所とも連携し、相談事業所からも学校と連携ができるようにしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアが必要な子どもの利用がないが、必要に応じて整えたい
	23	これまで利用していた放課後等デイサービス等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所等から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	○		障害福祉サービス事業所へ移行する場合は必ず支援内容等の情報を提供している
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	外部作業療法士から定期的に療育等に関するスーパービジョンを受けているが、専門機関との連携はできていないので、必要に応じて行いたい	

	26	障害のない子どもと活動する機会があるか		○		感染予防のため、活動や家族行事等で所外の人と触れ合う機会が減少したが、家族行事にきょうだいの参加もあり、みんなで活動できたまた、放課後等デイ開所日ではないが、毎月1回地域食堂「みんなのひろば」を企画して、地域の子どもや大人が出会える場を設けている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			毎月、自立支援協議会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の送迎時に保護者と話し、課題が生じた時はタイムリーに所内ケース会議を開き、必要に応じて関係機関等と連携を図っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者からのニーズは把握しておらず、実施していない 研修の機会があれば参加していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書等で説明している 変更があれば、その都度書面と口頭で説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談を丁寧に聴き取り、必要に応じて、相談事業所等、関係機関と連携しケア会議につなげている
	32	親の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	家族行事は、もちつき、とんどを実施した家族行事を通して、保護者同士で話をしたり、悩みを出しあったりする場を提供するよう計画しているが、感染状況を見ながらの実施で今年度は、2回しか茶話会が開催できなかった
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があれば職員間で共有し、速やかに改善策を検討して適切に対応する体制を作っている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月法人会報を配付している 事業所の行事や活動の様子については毎月1回通信を発行してお知らせしている
	35	個人情報に十分注意しているか	○			同意書を取り交わす等、十分注意、配慮して行っている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に合わせ、分かりやすい伝え方を工夫している

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍で地域住民を招待する行事は実施できていないが、近隣の方に野菜の収穫物を届ける関わりはもっている 定期的に近くの神社の清掃を行っている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルを策定して職員に周知している。保護者には緊急時対応マニュアルは知らせているが、すべては周知できていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、火災や地震を想定した避難・消火訓練を行っており、その様子については保護者に通信で知らせている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人研修、事業所内研修を年に1回ずつ行っている。毎月の業務点検でリスクについて確認している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別の支援計画に記載しているか		○		現在、身体拘束を行っているケースはないが、今後あれば話し合いを重ね、十分に説明し了解を得て、計画書に記載する流れを徹底する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの情報に基づき、アセスメント表やサポートカードに記載し、共有している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットをその都度法人内メーリングで共有し、ファイリングし、会議で未然防止対策等を確認している